機械学習の概要

そもそも機械学習とは?

機械学習とはAIの一種で、Machine Learningとも呼ばれています。 深層学習(Deep Learning)やニューラルネットワークなどと 混在されがちですが、並列な関係では<u>ありません</u>。 広義なAIの一分野に機械学習が属しており、 その手法の一つにニューラルネットワークがあります。 そして、ニューラルネットワークの手法の一つが深層学習です。

機械学習の種類

大きく3種類あり、

教師あり学習 → 人間が教師データを用意し、それを基に学習

教師なし学習 → 正解を与えずに、データの特徴やパターンを学習

強化学習 → 目標(報酬)を最大化するための行動を学習

に分かれています。

このアプリでは教師あり学習を利用しています。

教師あり学習とは

人間がAIにデータを渡す際に、答えのデータも渡します。 AIは最初、答えのデータもセットで学習します。※1 その後、答えが書いていないデータをAIに渡し精度を測ります。※2 この際の正解率がそのままAIの学習結果となります。※3

- ※1 人間でいうと問題集と解答集をセットで学習して、同じ問題集で何度も繰り返し学習イメージです。
- ※2 人間でいうと本番のテストと同じです。
- ※3 いくら問題集で正解率が高くでも、テストで正解できなければ意味がありません… この際、大きく正解率が下がった場合、問題集には強いが本番のテストには弱いAIができてしまいます。 こういった状態のことを過学習(overfitting)しているといいます。

教師あり学習の種類

大きく2種類あり、

分類 → YES/NOで答えられる問題(データから花の種類を判別など)

回帰 → 数値で答えられる問題(データから価格を推測など)

に分かれています。

よく使われる手法

様々な手法がありますが、

- ロジスティック回帰(Logistic Regression)
- サポートベクターマシン(Support Vector Machine)
- ランダムフォレスト(Random Forest)
- ニューラルネットワーク(Neural Network)

などが代表的です。

このアプリでは現在Random Forest系を実装しています。

引用、参考資料

機械学習とは?3つの学習方法と利用例までを分かりやすく解説 https://business.ntt-east.co.jp/content/cloudsolution/column-166.html

教師あり学習とは?覚えておきたい機械学習の学習手法概要 https://business.ntt-east.co.jp/content/cloudsolution/column-161.html

機械学習とは?これだけは知っておきたい3つのこと https://jp.mathworks.com/discovery/machine-learning.html

機械学習 - Wikipedia

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A9%9F%E6%A2%B0%E5%AD%A6%E7%BF%92

教師あり学習や強化学習との違い・活用事例・代表的なアルゴリズムを紹介 https://ledge.ai/unsupervised/